



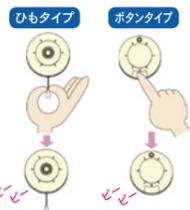
# 10. 家庭での火災予防

火災を防ぐには、どんなことに気をつければよいのか見てみよう。

## いち早く火災を発見するために！

住宅用火災警報器を寝室や台所などにつけなければなりません。

「いざ！」という時にきちんと働くように、月に1回テストボタンを押すか、ひもを引いて警報音がなるか確かめよう！また、住宅用火災警報器の本体は、センサーなどの寿命により交換が必要です。概ね10年を目安に、新しい住宅用火災警報器に交換しましょう。



## たばこ火災を防ぐために！

寝たばこはしない。たばこの火は必ず消す。

火が残っている吸い殻をゴミ箱に捨てたり、寝たばこをして火災になっています。たばこの火は、すぐに燃え広がらないのですが、人がいなくなった後に火災になることがあります。



## 火遊びは絶対にしない！

ライターで遊んでいるうちにほかのものに燃え移って火災になっています。花火で遊ぶ時も、ルールを守らないと火災やケガの原因になります。



ゴミは決められた日の朝に決められた場所に出すこと。



## ストーブ火災を防ぐために！

ストーブの上に洗濯物を干さない、カーテンなど燃えやすいものを近づけない。

ストーブ火災の多くは、使っている人の不注意から起きています。ストーブの上に干された洗濯物が落ちたり、寝ている時に布団がストーブに触れたりして火災になっています。



ストーブの周りで遊ばないこと。

ストーブに給油する時、移動させる時は必ず火を消すこと。



火のそばでスプレー缶を使用しないこと。

## 電気火災を防ぐために！

電気コードを重いものの下敷きしない。

家具の下敷きになったコードや長い間使われて古くなったコードの線が切れて、火花が出ることにより火災になることがあります。



## こんろ火災を防ぐために！

こんろ使用中はその場を離れない。

こんろ火災の多くが天ぷら油からの火災です。こんろを使っている最中に電話に出たり、テレビを見たりしているうちに火災になっています。



## 放火を防ぐために！

家の周りには燃えやすいものを置かない。

放火は、人目につかない暗い場所で行われています。新聞やダンボールなどの燃えやすいものは家の周りに置かないようにしましょう。

※放火は犯罪です。絶対にやめましょう。



花火は、そばに水を用意しておとと一緒に遊ぶこと。

